

北アルプス森林組合は、組合員の皆様とともに、先代から受け継いできた豊かな森林資源をこれからも次世代に引き継いでいきます。



組合長挨拶

組合員の皆様には、組合の運営等にご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当組合は、世界に誇る「北アルプス」の麓で、水源涵養、CO₂の吸収機能を持つ森林を守り育てていくため、組合員の皆様の森林の整備、松くい虫被害対策、治山工事のほか、再生可能な自然エネルギーとしての木質バイオマスチップの生産など多くの業務に取り組んでいます。また、今年度は新たに、当管内民有林の多くを占める広葉樹の活用に向けた実装、実験を進めています。

さて、世界は、2030年までのSDGsの持続可能な開発目標の実現及び2050年までのカーボンニュートラルの実現など、子供達の未来のためにも今直ぐに行動しなければならぬ「脱炭素社会の実現」に向け大きく動いています。

今年1月、日本経済界の主要な企業・自治体等で構成され、「地球を維持し、豊かで、すべての人の自己実現を可能にする」プラチナ社会の実現を目指す「一般社団法人プラチナ構想ネットワーク」に全国の森林組合に先駆けて加入し、森林資源をフル活用する革新的な事業の形成を目指すことを目的に同ネットワーク内に立ち上げられた「プラチナ森林産業イニシアティブ」のメンバーに加わり、森林の現状、林業を取り巻く厳しい環境、当組合の先進的な取り組み状況等を報告するなど、積極的にビジョンづくりに参加してきました。これらの議論をしてきたビジョンを、プラチナ構想ネットワークでは、今年5月、森林資源の最大限の活用を軸とした森林循環経済の構築を呼びかける「ビジョン2050 日本が輝く、森林循環経済」にまとめ公表しました。同ビジョンでは、「石油化学からバイオマス化学への転換」、「木造都市の展開」、「需要の拡大を受けた森林・林業の革新」の3つの戦略の推進を通じて、現状の4倍の森林資源の活用、1割のCO₂削減、4.7兆円の直接的な経済効果の実現を目指すとし、今まで斜陽産業とも言われてきた林業を、市場価値の高い産業に転換するとともに働き手に魅力的な成長産業へと変貌させ、資源の永続的利活用可能な循環型経済を実現するための具体策が描かれています。

組合員の皆様が先代から受け継ぎ守って来られた山、森林資源のフル活用が可能な時代がやってきます。

当組合は、林業の成長産業化、魅力的な産業に変えて行くため、一步踏み出します。

組合員の皆様には、子供たちの未来のためにも、森林を諦めないで、夢と希望をもって未来に引き継いでいきましょう。

最後に、組合員の皆様のご健康でご活躍されることを心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

北アルプス

森林組合だより

JForest

北アルプス森林組合

大町市平10788-1

電話 0261-22-0711

FAX 0261-22-4380

E-mail: alpstfa@

jforest-kitaalps.jp

令和5年7月発行



代表理事組合長
割田 俊明

第42回通常総代会を開催しました

去る令和5年5月30日、サン・アルプス大町において、第42回通常総代会を開催しました。

来賓に中信森林管理署長様、北アルプス地域振興局長様など8名をお迎えし、本年4月から新たに就任いただいた総代のうち、出席総代59名、書面出席110名により、令和4年度事業報告、決算及び令和5年度事業計画等について審議いただき、いずれも原案どおり決定・承認されました。

※組合員の皆様は、当組合事務所の窓口で総代会資料をご覧ください。



【令和4年度事業報告】

令和4年度は、組合事業経営計画の「経営安定期間」の2年目にあたり、経営安定に向けた基盤づくりのため、木質バイオマスセンターでの木質チップの製造を始めるとともに事業拡大に必要な職員・作業員の増員を行いました。

令和4年度決算と過去3年間の決算状況

(単位：千円)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
一 般 事 業	指導事業	収益	124	128	115	994
		費用	2,591	2,228	2,043	3,054
	販売事業	収益	68,657	55,115	101,372	50,039
		費用	43,325	29,568	60,205	27,543
	加工事業	収益	4,005	4,707	2,820	17,374
		費用	2,528	2,879	7,410	33,506
	森林整備事業	収益	153,455	148,263	202,830	155,646
		費用	117,865	108,118	148,427	113,837
森林経営事業		収益	3,462	2,274	—	3,643
		費用	2,343	1,537	589	1,316
事業総利益(損失)		61,051	66,157	88,463	48,440	
事業管理費		44,863	48,398	65,388	74,820	
事業利益(損失)		16,188	17,759	23,075	-26,380	
事業外損益	収益	1,254	3,380	1,763	3,280	
	費用	2,506	2,329	3,731	2,881	
経常利益		14,936	18,810	21,107	-25,981	
特別損益	収益	—	305	45,071	2,105	
	費用	1,567	39,192	888,783	100	
税引前当期損益		13,369	-20,077	-822,605	-23,976	
法人税、所得税、事業税		-183	-183	-183	-183	
当期剰余金		13,186	-20,260	-822,788	-24,159	
前期繰越損金		-165,207	-152,021	-172,281	-995,069	
当期末未処理損益金		-152,021	-172,281	-995,069	-1,019,228	

収益面では、次の理由により、約2,600万円の経常赤字となりました。

- ①木質チップ供給先企業様のボイラー稼働の都合により、供給量が見込みを大きく下回ったこと。
- ②受注した公共事業が、施工に係る発注者との協議に時間を要し、年度内に完了しなかったこと。
- ③人員を増員したことによる管理費の増加。

令和5年度は、木質チップ供給量の増加が見込まれること、繰越した公共事業等が収益に計上されることから、経常黒字を見込んでいます。

【令和5年度事業計画】

1. 木質チップの製造・販売を軌道に乗せるとともに、事業取扱量の増加を図り、売上総額3億円以上、経常利益1,600万円以上を目指します。またSDGs推進企業として、当組合が掲げた持続可能な開発目標の達成と、脱炭素化社会実現に貢献するため、関係機関等との連携により、新たな取組みを積極的に行います。

- ① 組合員のための森林整備等受託事業の事業量確保と計画区域の拡大
- ② 森林環境譲与税及び森林づくり県民税を活用した森林整備の受注確保

③ 脱炭素化に向けた再生可能な自然エネルギーの利活用推進

④ 温室効果ガス排出削減が義務付けられている企業等に対する、森林整備事業への投資の提案

⑤ 「農中森力基金」助成事業を活用した広葉樹データの取得と原木薪炭等への活用

2. 補助金等の不適正需給に伴う補助金等返還金は、「補助金返還等支払計画」どおりに返還を進めながら、県に対し補助金返還金の減免を粘り強く要請していきます。

【新しく総代・参与員になられた方をご紹介します】

任期は3年間(令和5年4月1日から令和8年3月31日まで)です。組合員と組合、役員を繋いでいただく大切な役割を担っていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(敬称略)

総 代												
大町市平			水島健治	西山行信	腰原光人	白馬村神城			宮田順平			
遠山洋	松井栄一	津滝能充	横澤毅昌	倉科昭二	山本睦彦	長澤素孝	田中典昭	中村辰夫	中村辰夫	松島芳明		
西澤真由美	松田邦正	小林治男	池田町		矢口貴志	田中裕基	太田恵一	松澤島弘	松澤島弘	塩島之薫		
傘木道広	小山寄淳	山田昭一	村山耕一	勝野尚芳	小林正樹	松沢宗一	松原穰	山本	小谷村			
傘木直樹	窪田昭一	田中昭一	太田徳勉	山本孝介	小山開純	江津彰八	篠崎力夫	山本一彦	原俊司	伊藤健一	松澤勲	横澤誠司
平林茂憲	大町市社	勝野保聡	中山和博	宮本紀博	大町市八坂			太田富良	伊藤敏	横澤誠	山田武彦	太田義和
中村英憲	勝野保聡	曾根原浩治	中山政幸	中山政幸	北澤良知	越山英利	下川通義	田中栄一	山崎義和	松澤守	小田利夫	山田信男
駒沢安正	丸山順彦	降幡勝一	中野泰子	立野貞憲	北澤久男	北澤徳夫	高橋本久	中村久一	太田徳久	山崎義和	小田利夫	吉澤信勝
駒澤充夫	丸山順彦	山田一彦	勝野貞子	和澤治正	中島寛明	勝野寛晃	窪田徳右衛門	武田宗久	太田洋一	松澤義和	山田利夫	清水秀豊
遠山富守	丸山順彦	太遠藤修平	赤羽正男	矢口朝人	鳥屋英一	小坂井悦男	伊藤今朝春	太田洋一	白馬村北城			山田久志
工藤章稔	丸山順彦	小飯島伸一	桜井康人	中山登志男	小坂井悦男	伊藤今朝春	宮田清広	小郷盛彦	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一
花澤偉典	丸山順彦	吉田加代子	中山登志男	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
渋田見盛	丸山順彦	堀田正樹	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
荒木盛宗	丸山順彦	矢口忠正	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
傳刀盛宗	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
太田彰一	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
荒井正文	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
宮坂文夫	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
太谷一美	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
成澤伸治	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
西澤悦夫	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
平林悦夫	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
荒山雄大	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
西澤徹	丸山順彦	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
大町市大町			丸山隆士	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
金原健次	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
飯島信一	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
吉田厚元	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
伊藤彰一	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
長澤安志	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
荒井徹基	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
宮脇泰介	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
平林泰幸	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
合津幸	丸山隆士	丸山隆士	眞島重章	眞島重章	宮田清広	宮田政彦	伊藤泰長	丸山直樹	丸山幸一	太田俊社	相澤尚一	相澤尚一
参 与 員												
大町市			堀田博明	大町市八坂			白馬村			藤森健正		
傘木信行	坂井義輝	坂井和宏	堀田博明	松島博繁	太田幸一	太田幸一	林克也	森久保	切倉穂積			
遠藤久八	矢口和宏	永田治秀	松川村			北澤豊繁	篠崎志晃	松倉	小谷村			
原沢智彦	浅野文秀	奥原清邦	奥原清邦	仁科利夫	江津吉雄	宮沢三郎	吉沢三郎	武田貞夫	見田光雄	宮島隆勝		
伊藤真彦	丸山勝一	丸山勝一	平林寛也	大町市美麻			中山守也	中山守也	上川崇志			
丸山勝一	丸山勝一	丸山勝一	狩野和夫	江津吉雄	小松信司	中山守也	中山守也	上川崇志				
曾根原一之	丸山勝一	丸山勝一	武田健二	江津吉雄	成澤村敬一	中山守也	中山守也	上川崇志				
宇海仁之	丸山勝一	丸山勝一	丸山公夫	江津吉雄	成澤村敬一	中山守也	中山守也	上川崇志				
森山彪	丸山勝一	丸山勝一	丸山公夫	江津吉雄	成澤村敬一	中山守也	中山守也	上川崇志				

「森林の里親契約」締結式が行われました



左から、内村航平さん、割田組合長、ジョイカルジャパン早川CEO、和田長野森林組合長、須藤県林務部長

「森林の里親」制度は、企業など（里親）から資金や労働力の提供を受け、市町村や団体（里子）が森林整備を促進することを目的とするものです。

6月5日（月）、元オリンピック選手の内村航平さんが公式パートナーを務める自動車販売業（株）ジョイカルジャパン（東京）が里親企業となり、当組合と長野森林組合に資金を提供する「森林の里親契約」締結式が、長野県庁で行われました。

当組合の割田組合長が出席し、須藤長野県林務部長立会いのもと、契約書の取り交わしを行いました。

この契約により、現在、当組合が大町市常盤地区で進めている森林整備に、里親からの資金が活用されます。

広葉樹材の活用に向けた取組み

【広葉樹林業を目指して】

令和5年度の農林中金森林再生基金の事業として当組合の提案が採択されました。

当事業では、広葉樹林における森林資源情報の効果的かつ、効率的な把握方法を検討するとともに、低コストで高効率に広葉樹林を維持・更新していく方法の検証を行います。

当事業を通し、過去に薪炭林として利用されていたが、放置され大径木化が進んでいる広葉樹林の経済的価値の向上および、森林整備の推進につながるよう取り組んでまいります。



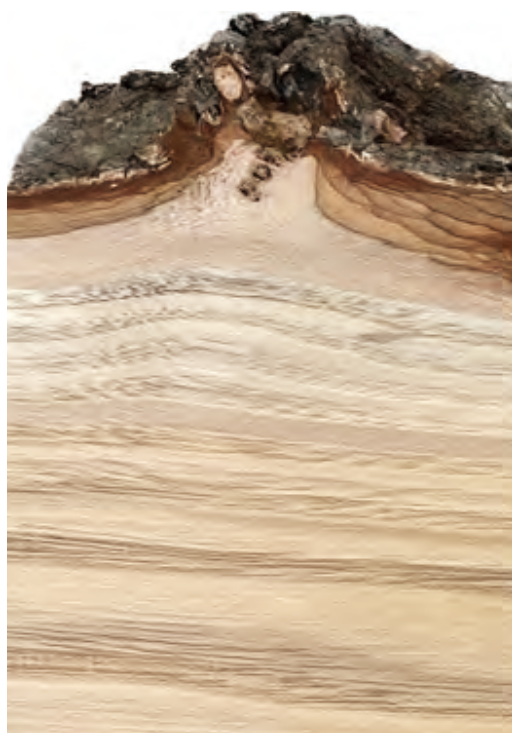
【木材の地産地消】

当管内で伐採された木のほとんどが管外へと運搬された後、木材やバイオマス燃料及びパルプなどとして利用されています。そのため、木が伐採されてから利用されるまでの運搬距離が長くなり、その過程で排出される二酸化炭素量も多くなっています。

その原因のひとつとして、管内の木材加工施設が不足しているという実情があります。木材加工施設とは、伐採された丸太を板や角材などの建築・家具材料へと加工する製材所や、建築・家具材としては向かない小径木や曲がった木などをチップへ加工する工場などのことです。

長野県 SDGs 推進企業である当組合では、「木材の地産地消」を推進し、二酸化炭素排出量の削減、地域循環型社会の形成を実現するために各種加工事業に取り組んでいます。

組合員の皆様には北アルプス森林組合で加工した木を使うことをご協力いただければと思います。管内の木を使うことに興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひ森林組合事務所へお問い合わせください。



森林組合の事業の様子

森林整備事業 (大田市常盤地区)

前年度に引き続き令和4年度は約6haの森林整備事業を実施しました。



除伐



伐採



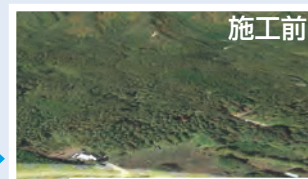
木材搬出



植栽
※約6000本のカラマツ



完了報告



施工前



施工後

支障木特殊伐採

- 高所や急斜面などの悪条件でも、十分な安全管理のもと伐採を行っています。
- コミュニケーションを密にとり、作業効率を高めた施業に努めています。



依頼件数の実績

令和4年：98件
 令和5年：35件※
 ※5月末時点

◎住宅付近の枯木は大変危険です!!生活に支障となる立木の伐採は森林組合にお問い合わせください。ご相談承ります。

関連事業



木質バイオマスチップの生産



製材加工事業

測量風景

ドローン調査



◎森林資源の活用、各種調査を行っています。また、職員一丸となって、持続可能な社会の実現に向けた新たな事業にも取り組みを開始しました。

組合員の皆様へのお願い

組合員の名義変更の手続きをお願いします

組合員の方がお亡くなりになった場合、所有の山林を相続された場合などは、組合員の名義変更をする必要があります。この場合、名義変更届を相続開始から10か月以内に届け出ていただくことになります。具体的な手続き等詳しくは組合にお問い合わせください。

製材やチップの販売のほか、木材加工品の取り扱いも始めました



- ☆ **製材** : 昨年から本格的に製材作業がスタート。丸太から一枚一枚丁寧に板材を挽いています。ご希望の木材等の条件がございましたら、ご注文を承ります。
また、乾燥した板も販売していますので、組合をお訪ねください。
- ☆ **チップ** : 木質バイオマス燃料での利用のほか、各種用途としてご活用いただけます。
- ☆ **スウェーデントーチ**
: 木の幹に切り込みを入れて燃やし、手軽に焚き火が楽しめる材料です(右上写真)。キャンプの際は、火台としても活用(着火後に丸太の上に調理器具をのせれば料理可)でき、美味しいキャンプ飯を作るアイテムにもなります。気軽にお問い合わせください。

今年の新規採用職員、作業員の紹介

今春組合には新たに6人の仲間が加わってくれました。

- 箱部さん** : 徳島県で10年の林業経験のある即戦力の作業員。
 - 大澤さん** : 管内の木材を用いた木工製品の販売を目指します。
 - 中山さん** : 池田町出身。林業へ憧れがあり他業界から転職。
 - 小沼さん** : 松川村出身。近隣の支障木伐採はお任せください。
 - 古畑さん** : 大町市出身。林業経験豊富なフォレストワーカー。
 - 横内さん** : 丸太から用途に応じた形に加工する製材担当。
- 今年も林業への希望とやりがいを求めて多種多様なメンバーが入りました。地元密着組、移住組、年齢も20代~50代と幅広く、かつバラエティーに富んだ面々です。



左から 箱部さん、大澤さん、中山さん、小沼さん、古畑さん、横内さん

お知らせ

Twitter
はじめました。

→ QRコード →

@kitaalps_forest

当組合では、今後の目指す姿、林業の2050年までの長期ビジョンの一つとして、「働き手に魅力的な産業への変貌」を掲げております。組合でもその目標に向かって全力で取り組んでおります。林業経験のある方に限らず、林業に興味のある方がお知り合いでおられましたら、ぜひ一度お問い合わせください。一緒に林業を盛り上げていきましょう!

また、「山が管理できない」「山を手放したい」などお困りのことがありましたら、組合にご相談ください。

